

サーモハンドルの安全ボタンを押したら戻らなくなった。

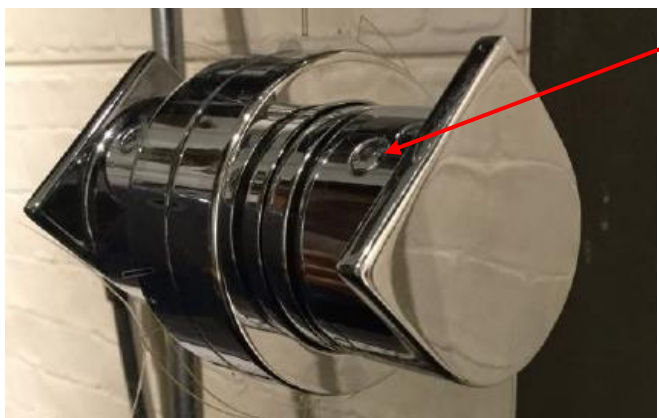
石鹼カスや皮脂が安全ボタンの周りに付着していると、安全ボタンを押した時に固着して戻らなくなる事がありますので、定期的な清掃をしてください。

- ① 安全ボタン周りは歯ブラシなどを使って石鹼カスや皮脂がたまらないようにして下さい。
- ② ボタンが戻らなくなってしまったら、一旦ハンドルを外し、清掃が必要になります。



安全ボタンが下がったまま戻らなくなっています。

安全ボタンが戻らなくなった場合は以下の方法で清掃してください。



- ① ハンドルを回しカバーキャップを安全ピンの先を使って持ち上げて外します。

注意) ハンドルを取付けた位置を覚えておいてください。

※ 違う位置に取り付けると、温度設定が変わってしまいます。

- ② 中に2.5mmのイモビスがありますのでΦ2.5mmの六角レンチを反時計回りに回し緩めた後、ハンドルを引き抜きます。



固定ピン

外したハンドルの裏側にボタンを固定しているピンがあります。



③プライヤーやペンチを使って固定ピンを引き抜いてください。



④固定ピンを引き抜きボタンを外します。

※外れない場合は、安全ピンや精密ドライバーを使ってピンの穴に入れ持ち上げて下さい。



固定ピン ボタン スプリング(こちらを外れます)

⑤各パーツや穴の周りの汚れを拭き取って下さい。

⑥拭き取った後は、取り外した時と逆の手順で取り付けていきます。

注意) ハンドルを取付けた時と同じ位置にハンドルを戻してください。
違う位置に取り付けると、温度設定が変わってしまいます。

※温度設定をし直す場合はホームページに掲載の取扱説明書を参照してください。